

新まちづくり計画（H16～18）追加補強事業総括調書 （単位：千円）

予 算 事 業 名		公共交通利用環境改善調査検討(公共交通ネットワーク確保対策事業の一部)		
担 当		市)総合交通計画部交通企画課 平野(211-2492)		
基 本 目 標		3	世界に誇れる環境の街さっぽろ	
重 点 戦 略 課 題		4	歩いて暮らせる快適で美しい街の創造	
施 策		1	環境に負荷をかけない公共交通の利用促進	
関 連 新 ま ち 計 画 事 業 名				
		予算額	決算額	事 業 費 の 主 な 内 訳
事 業 費		5,000	4,745	・ 公共交通ニュースレター印刷、発行(3回、592千円) ・ 公共交通利用環境改善調査検討業務(4,153千円)
財 源 内 訳	国・道支出金			
	市 債			
	そ の 他			
	一 般 財 源	5,000	4,745	
事業実施(拡充)の背景・目的・考え方				事業内容(量・場所・規模等)
バス交通は、利用者数の減少傾向が30年以上続いており、さらに道路運送法による事業自由化や市営バス事業廃止により、そのネットワーク維持に強い懸念が生じてます。 各事業者が、事業において維持しがたくなり、かつ、市民生活に必要な路線については、札幌市総合交通対策調査審議会の答申に基づき、本市独自の維持方策を構築したところです。 しかし、審議会からは、このような維持が必要な路線を抑制し、さらに環境負荷が自家用車に比して小さいバス交通の市民生活やまちづくりにおける地位向上をはたすためには、「使いやすさ」と「わかりやすさ」の向上を図り、バス交通の利用促進を進めることが必要であるとの指摘を受けています。 これらから、バス交通を中心とした公共交通利用環境の向上を目指し、関係事業者等の協力のもとで、必要な改善内容の見出しと改善の実施を目指します。				<18年度> ・市民に対する公共交通関連情報提供 公共交通に関する各種利用関連情報や、各事業者の利便性向上を目指した様々な取組に関する情報を、ニュースレター発行などを通じて市民に提供しました。 ・利用環境改善に関する調査検討 公共交通の利用にあたって、市民が感じる「わかりにくさ」や「使いにくさ」を関係事業者の協力の下に把握し、必要な改善項目と改善手法を検討しました。
評 価 (成 果)			課 題	
・公共交通利用環境改善の取り組みとして、ニュースレターを3回発行し、公共交通の様々な利用方法等を照会することにより、公共交通の利用促進の一助となりました。 ・また、利用環境改善調査を基に、事業者と札幌市・運輸局など行政が、問題点や改善策を話し合う、利用環境改善作業部会を立ち上げ、改善策検討を継続的に協議する場を設けました。			・利用環境の改善は、行政単独で行うことはできないことから、今後とも事業者と協力しながら、市民のニーズを把握していく必要があります。 ・バス事業者は、昨今の利用者減少から、財政状況が良好ではなく、コストの大きなハード整備は困難であることから、極力コストを抑えた中で大きな効果をあげるような取り組みが必要となります。	
19 年 度 以 降 の 方 向 性 ・ 事 業 の 予 定				
18年度から始めた作業部会や利用環境改善調査を継続し、今後より具体的な利用環境改善策の検討・実施を目指します。				